

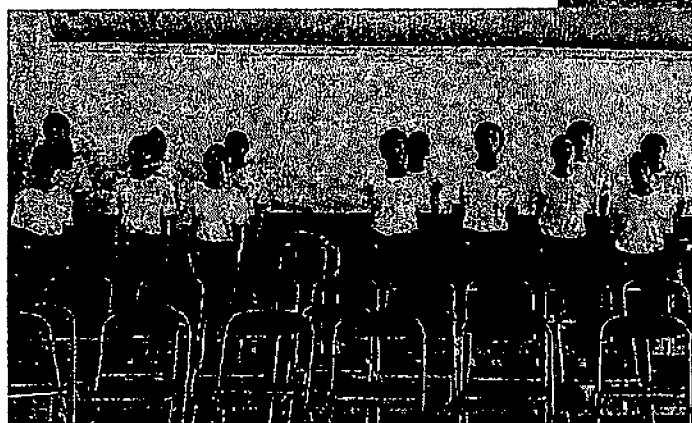
令和元年度 第69次印旛地区教育研究集会  
音楽分科会提案資料

音楽研究部研究主題

音楽の美しさを聴き取ろう 感じ取ろう そして伝え合おう  
～音楽的な見方・考え方を働かせ、進んで音楽に親しみ、  
音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成するための授業づくり～

研究副主題

「音楽的な見方・考え方を共有し、  
創意工夫を生かした歌唱表現を追求する生徒の育成」  
～様々な言語活動やグループ活動を通して～



第一部会

佐倉市立臼井中学校 荒川 淑子  
佐倉市立臼井西中学校 廣川 美和  
佐倉市立臼井南中学校 荒木ちひろ

## 1 研究主題

音楽の美しさを聴き取ろう 感じ取ろう そして伝え合おう  
～音楽的な見方・考え方を働かせ、進んで音楽に親しみ、  
音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成するための授業づくり～

## 2 研究副主題

「音楽的な見方・考え方を共有し、創意工夫を生かした歌唱表現を追求する生徒の育成」  
～様々な言語活動やグループ活動を通して～

## 3 副主題設定の理由

### (1) 学習指導要領とのかかわり

印旛地区教育研究会音楽研究部研究主題「音楽の美しさを聴き取ろう 感じ取ろう 伝え合おう」に基づき、音楽的な見方・考え方を言葉で伝え合い共有して、音として表現して確かめたり、深めたりすることができれば、音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成することにつながると考え副主題を設定した。多くの中学校では、合唱祭や集会、卒業式など合唱に関わる行事が多く、クラスや学年で生徒が主体的に歌唱表現に取り組んでいることから、研究の内容を歌唱に絞って行った。

これまでの授業づくりにおいても、合唱をつくりあげる段階で、音楽的な見方・考え方を働かせ、言語活動を通じて思いや意図を伝え合い、より良い表現を目指すパート練習やペア練習などのグループ活動は行われてきた。しかしながら、そのような活動は、音楽経験を深く積んでいる生徒に頼ることも多く、音楽的な見方・考え方を働かせることが十分にできない生徒も見られた。今回の学習指導要領の改訂の基本方針では、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を進めることが示されており、その留意点として、言語活動の質の向上や音楽的な見方・考え方を働かせ深い学びの支えとすることが挙げられている。従って、どのような言語活動を仕組みれば音楽的な見方・考え方を働かせることができるのか、また、どのような言語活動やグループ活動をすれば創意工夫を生かした表現を追求する生徒の育成につながるのか、研究を進めることとした。

### (2) 生徒の実態から

佐倉市の白井地区には白井中学校、白井南中学校、白井西中学校の3校がある。白井南中学校は25年前、白井西中学校は30年前に白井中学校から分離して開校した。3校それぞれ各学年のクラス数が3～4クラス、全校生徒400名以下の中規模校である。各校とも穏やかな雰囲気で行われており、授業にも落ちついて取り組んでいる。

本研究を進めるにあたり、各校での歌唱表現の授業について意見交換をした。各校とも、パートリーダーを中心に意欲的に練習に取り組んでおり、合唱することも楽しんでいる。しかし、活動のほとんどが音程やリズムを正確にとり、ハーモニーをつくることに精一杯になっている、また、少人数でのグループアンサンブルを行っているが、他のパートにつられてしまうことから、一人ひとりが声を出すことが一番の目標になってしまうなど、授業の内容に深まりがないことがわかった。取り組んでいる楽曲のよさや美しさを感じ取り、それにふさわしい表現を工夫しようと言葉で説明できる生徒もいるが限られた生徒に留まっており、表現を深めるために積極的に発言したり、歌ったりすることが困難な生徒が多くいることがわかった。

従って、本研究では2つのことをテーマとして取り組んだ。まず、限られた時間の中でも、適切な場面で効果的な言語活動を取り入れることによって、一人ひとりの生徒が音楽的な見方・考え方を働かせられるようにしたい。次に、音楽的な見方・考え方を生徒同士が共有し合い、お互いの思いや意図を知ることによって、楽曲のよさや美しさについて学びが深まり、曲にふさわしい創意工夫を追求できるようにしたいと考えた。

このような授業づくりをするためには、一人ひとりが音や音楽と豊かに関わり、自分の言葉で音や音楽について説明する力を身につけることが必要である。よって、一人で考える場面、教師が生徒とやりとりをする場面、生徒同士が話し合う場面、自分たちのグループの思いや工夫を他のグループに発表する場面、他のグループの発表を聞く場面など、言語活動の在り方や適切な取り入れ方によって一人ひとりの音楽的な見方・考え方が深まるようにしたい。

#### 4 研究仮説

【仮説1】歌唱表現の授業において言語活動の進め方を工夫すれば、主体的・協働的に音楽活動に参加できる生徒が増え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫することができるようになるであろう。

【仮説2】各グループで話し合われた表現の工夫について、自分たちで練習し試行錯誤したり、学級全員で実際に試して歌ったりすることで、音楽を形づくっている要素とその働きがいつそう明確になり、曲にふさわしい歌唱表現を更に追求する生徒の育成につながるであろう。

#### 5 研究内容

##### 【仮説1】について

仲間との言語活動を行うために、まず個々の生徒が、歌詞や曲想から曲にふさわしい歌唱表現を主体的に捉えることができるようにする。また、捉えた内容について言語化して、自分の言葉で他者に伝えることができるようにする。

～歌詞や曲想から曲にふさわしい歌唱表現を主体的に捉えるために～

- ① 表現する楽曲について絵や写真を用いる→歌詞や音楽のイメージを膨らませる
- ② 楽曲の構成を色分けして示す→曲想の変化を捉えやすくする
- ③ 指揮をふったり、旋律の動きに合わせて体を動かしたりする→音楽を形づくる様々な要素を捉えやすくする
- ④ 拡大譜に付箋やシールなどを使用する活動を取り入れる→歌唱表現を工夫したい部分を明確にする
- ⑤ 板書を工夫し、前時からの流れが分かるようにする→学習してきた流れを把握し、段階的に音楽的な見方・考え方を働かせやすくする

～捉えた内容について、言語化して、自分の言葉で他者に伝えるために～

- ⑥ 教師と生徒のやりとりを導入の段階で入れ、言語活動を増やす→他の人の意見を聞いて音楽的な見方・考え方の幅を広げる。
- ⑦ ワークシートを工夫する→音楽的な見方・考え方を深め、自分の考えをまとめられるようにする
- ⑧ ホワイトボードを用いる→字を大きくして互いの意見を共有しやすくする/自分の意見を人に伝える意識を持たせる

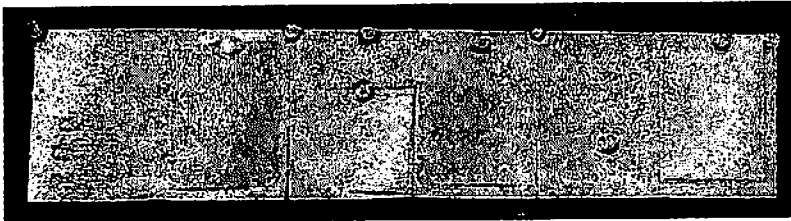
##### 【仮説2】について

- ⑨ グループの活動の形態を工夫する
- ⑩ グループで話し合った創意工夫の具体的な表現の方法は、そのグループでも実際に歌って試し、ふさわしい表現か思考・判断する
- ⑪ グループで話し合った創意工夫の内容について思いや意図を伝え聴き合う場面を設定し、音楽的な見方・考え方を深め、表現を追求できるようにする
- ⑫ 学級全体で各グループの表現の創意工夫を共有し合唱してすることで、音楽を形づくっている要素やその働きを捉えやすくする
- ⑬ 自分たちの演奏を録音して聴いてみて、表現の深まりが出るようにする

## 6 指導の実際

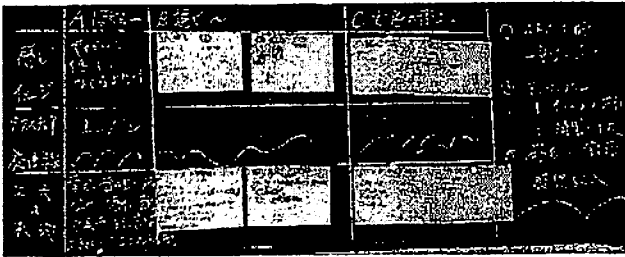
### 研究～第一段階～

平成30年度には各校で【仮説1】【仮説2】の手立てを実践し、音楽的な見方・考え方を働かせ、主体的に表現を工夫できるようにするにはどうすればよいか検証した。



楽曲の構成を色分けして示す

ホワイトボードを用いて字を大きくし、お互いの意見を共有しやすくする／自分の意見を人に伝える意識を持たせる



グループで話し合った内容を学級で共有する。

グループでの工夫を発表する。



### 研究～第二段階～

各校での活動を受け、平成31年度には臼井中、臼井西中、臼井南中の3校で「花」（武島羽衣 作詞／滝廉太郎 作曲）の歌唱表現に取り組んだ。指導計画を立てるにあたり、授業時数が不安定になりがちな4、5月にも、限られた時間で学習が深まる内容になるよう意識した。従って、この指導計画では【仮説2】の研究内容⑩⑪には取り組んでいない。次のページから、その指導案である。

### 第3学年 音楽科学習指導案

#### 1 題材名 「歌詞の情景と音楽の関わりを感じ取っていきいきと表現しよう」

教材名「花」 作詞 武島羽衣/作曲 滝 廉太郎

#### 2 題材について

##### (1) 題材観

本題材では、学習指導要領の第2学年及び第3学年の目標にある「曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わり」を理解し、「曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫すること」を目標にしている。「花」の歌詞に広がる情景や音楽の魅力に気づき、味わうことを通じて、いきいきと豊かな表現をする思いや意図を持てるようにしたい。

指導にあたっては、生徒が自然な思考の流れで歌詞や音楽に共感し、感動できるようにしたい。まず、歌詞を音読して言葉の意味を理解し、情景を膨らませる。イメージが広がったところで音楽を聴く。その後、作曲家が歌詞の細やかな情景描写を音楽でどう表現したのか分析していく。歌詞の意味やそこに広がる情景、語感をわずかな旋律の変化やリズムの変化で表現していることに気づくだろう。作曲家が一曲に散りばめた工夫を探し、その根拠を考えたり、それをどう表現するか考えたりすることから、いきいきとした表現につなげていきたい。本題材では、個人での考えを深める時間、グループで考えや思いを伝え合う時間、一斉で思いを伝え合う時間を少しずつ配置し、言語活動を通じて音楽的な見方・考え方を働かせやすいようにしたい。

曲への理解が深まれば、生徒が表現したい思いや意図が膨らみ、技能だけに頼って表現することから、思いや意図と技能を行ったり来たりしながら曲想にふさわしい創意工夫ができるようになると思う。

##### 学習指導要領とのかかわり

##### 第3学年 A表現

(1) ア 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫すること。

イ 次の(ア)及び(イ)について理解すること。

(ア) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わり

〔共通事項〕ア 旋律、強弱

イ 拍子、和音

##### (2) 指導観

「花」は明治時代に詩人、国文学者の武島羽衣と作曲家の滝廉太郎によって生み出された作品で、組曲「四季」の冒頭の一曲である。春の美しさと切なさを凝縮したこの歌は、誕生から100年以上の歴史を経て、今でも我が国で愛される歌の一つである。

この曲の魅力は、歌詞が1、2、3番と変化していくのに合わせて、旋律や伴奏が少しずつ変化し、春の美しさとはかなさを表現していることである。1番の歌詞では、隅田川を往来する船の櫂から落ちるしずくさえも花びらのように連想させ、春爛漫の穏やかでぼかぼかとした情景を描いている。2番では、桜や柳を擬人化し、朝と夕の景色の違いをしつとりと表現している。3番では暮れゆく隅田川と桜の花の表しようのない美しさをうたっている。このように変化していく情景に合わせて、音楽もまた少しずつ変化をしている。

第1時では、歌詞と旋律の動きの関わりに注目し、休符や細かい音程がどのような働きをしているのか考えさせる。また、二拍子を振ることで、ゆったりとしたフレーズの流れや穏やかな歌詞の内容が合致するようにしたい。アルトパートにも挑戦し、ただハーモニーづくりのためだけでなく、アルトのパートとしても美しい旋律になっていること、また実際に合唱すると味わいがより深くなることに気づかせたい。

第2時では、1番と3番を比較して学習し、歌詞や旋律の変化を意識した表現の工夫がで

きることを目指す。音楽の変化に気づくために、一人ずつにシールを持たせ、変化のあった部分についてシールを貼らせることにした。リタルダンドやクレッシェンド、フェルマータなど、曲想が大きく変化する部分には、たくさんのシールが付くが、変化を感じ取りづらい部分には数枚のシールが貼られることになる。シールがついた部分について、どのような音楽の変化が起こっていたのか、全体で話し合いをする。その後、その変化をどのような意図でどのように表現するのか考え、グループごとに意見を共有しあう。その際、表現の工夫をしたい部分は自分で選ばせ、同じ場所を選んだ者同士で意見を共有できるようにグループづくりを工夫した。グループで話し合った内容について、全体で共有しながら、実際に自分たちで歌ってみることで、表現を工夫することが音楽の味わいをより深くすることに気づくとともに、「花」という楽曲のよさや美しさを再発見できるようにしたい。

### 3 題材の目標

- ・歌詞の情景と音楽がどのように関わって曲想を生み出しているかを理解して表現する。
- ・歌詞の内容を生かして音楽表現を工夫する。

### 4 題材の評価規準

音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能
① 歌詞の情景を味わい、音楽と歌詞の関わりを理解しようとしている。 ② 歌詞の内容や曲想に興味関心を持ち、自己のイメージや想いを広げ、歌詞の内容や曲想にふさわしい表現の方法を見だし工夫する学習に主体的に取り組もうとしている。	① 歌詞の内容や曲想を感じ取り、それにふさわしい表現の工夫について、自分のイメージや想いをもちたり、楽譜の用語や記号を手がかりにしたりしながら、効果的な表現を考えている。	① 歌詞の内容や曲想を感じ取り、楽譜の用語や記号も手がかりにしながら曲にふさわしい表現について、自分のイメージや想いをもちて歌っている。

### 5 指導と評価の計画（2時間扱い）

時間	◎ねらい 学習内容・学習活動【共通事項】	・教師の働きかけ ◇評価規準【評価方法】
第一時	◎歌詞が表す情景を想像しながら、音楽と歌詞のかかわりを感じ取って聴き、表現につなげる。 ○情景を想像しながら、詩を全員で読む。 ・言葉の意味を理解する。 ・各連の情景を想像する。 ・作詞者、武島羽衣と作曲者、滝廉太郎について理解する。 ○歌詞の情景を思い浮かべながら「花」を聴き、詩と音楽のかかわりを感じ取る。 ・全体を通して鑑賞する。 ・隅田川や桜の風景の写真、教科書を見る。 ・再度、一番を鑑賞し、主旋律を歌う。 ・一番の構成を確認する。	・教師の働きかけ ◇評価規準【評価方法】 ・黒板に詩を掲示する。 ・どんな情景が思い浮かんだか、生徒に質問する。 ・作詞者、作曲者の写真を黒板に掲示する。 ・感じたことを質問する。 ・隅田川や桜の風景を掲示する。 ・楽譜に色紙を置き、AA' BA"の構成になっていることを示す。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じAの部分に少しずつ変化があることを意識する。</li> <li>・Aの部分の変化を意識して歌う。</li> </ul> <p>[旋律]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○拍子を感じて歌う。</li> <li>・何拍子の曲なのか考える。</li> <li>・2拍子, 4拍子のどちらも振りながら歌い, 音楽の雰囲気の変化を感じ取る。</li> <li>・2拍子の大らかで柔らかい音楽の動きを感じ取る。</li> </ul> <p>[拍子]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○アルトの声部を練習する。</li> <li>・アルトパートを練習する。</li> <li>・ソプラノパートの旋律との違いを楽譜を見ながら理解して歌う。</li> </ul> <p>[旋律]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○二声に分かれて合唱をする。</li> <li>・それぞれの声部の美しさを感じ取る</li> <li>・二声の重なりを味わって歌う。</li> </ul> <p>[和音]</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・変化を感じ取れるよう比較して問いかける。</li> <li>・なぜ変化しているのか, 歌詞と関連させて考える。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どちらの拍子がこの曲に合っているが質問する。また, なぜその拍子を選んだのか理由を聞く。</li> </ul> <p>◇関①, ②【ワークシート, 発言, 歌唱表現】</p> <p>◇技能①【歌唱表現】</p>
<p>第二時</p>	<p>◎3番と1番の歌詞や音楽を比較し, 歌詞の内容を生かした音楽表現を工夫して歌う。</p> <p>○前時の復習をし, 歌詞の情景や音楽の特徴を思い出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一番のソプラノパートを歌う。</li> <li>・一番のアルトパートを歌う。</li> </ul> <p>○3番を鑑賞し, 1番と比較をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽譜を見ながら鑑賞し, 変化のあった部分を探し, 教科書の楽譜上に印をつける。</li> <li>・印をつけた部分を意識しながら, 上声部を歌ってみる。</li> <li>・黒板の拡大譜に自分で見つけられた変化の部分にシールを貼る。一人2カ所。</li> </ul> <p>[旋律, 強弱]</p> <p>○シールが貼られた部分について1カ所選び, 分析して情景にふさわしい歌い方を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1番と比較して音楽がどのように変化しているか。</li> <li>・なぜ, そのように変化させたのか歌詞を手がかりに根拠を考える。</li> <li>・歌詞や音楽の特徴を生かすために, どのような歌い方の工夫ができるか考える。</li> </ul> <p>○同じ部分を選んだ者同士で集まり, 考えや思</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各連の情景のイメージを貼っておく。</li> <li>・黒板に「花」にふさわしい風景の写真の写真を貼っておく。</li> <li>・前時の感想を紹介する。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1番と3番の拡大譜を貼る。</li> <li>・CDを流す。</li> </ul> <p>◇関①【観察】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホワイトボードやワークシートの紙に個人で記入する。</li> <li>・根拠が歌詞の情景と関連していることに気づかせたい。</li> </ul>


	<p>いを伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お互いの考えや思いを聞き、意見をまとめる。</li> </ul> <p>○グループで話し合った内容を代表者が全体に伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シールが貼られた部分の変化の根拠や工夫の仕方について理解する。</li> </ul> <p>○工夫点を意識しながら全体で合唱をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれのグループから出た意見を参考にしながら、1番と3番を通して歌う。</li> </ul> <p>○「花」の良さを紹介文にしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2時間の学習を通じて気づいた「花」のよさや美しさについて記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者は再度全体から出た意見を意識させるようにまとめる。</li> </ul> <p>◇創①【発表】</p> <p>◇技能①【表現】</p> <p>◇関②, 創①【ワークシート】</p>
--	--	---

## 6 本時の指導 (2/2)

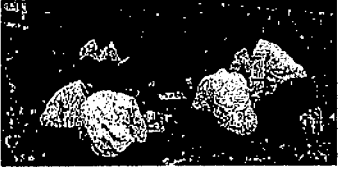
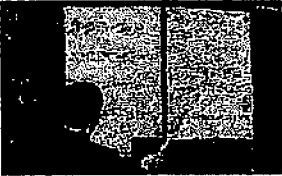
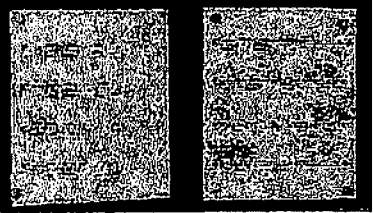
### (1) 本時の目標

- ・3番と1番の歌詞や音楽を比較し、歌詞の内容を生かした音楽表現を工夫して歌う。歌詞の内容や曲想を感じ取り、それにふさわしい表現の方法を工夫する。

### (2) 本時の展開

過程	時配	○主な学習内容 [共通事項] ・学習活動 「発問」 『予想される生徒の様子』	・教師の働きかけ ◇評価【評価方法】
めあてをもつ	5	<p>○前時の復習をし、歌詞の情景や音楽の特徴を思い出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1番のソプラノパートを歌う。</li> <li>・1番のアルトパートを歌う。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各連の情景のイメージを貼っておく。</li> <li>・黒板に「花」にふさわしい風景の写真の写真を貼っておく。</li> <li>・曲を色分けした構成図を掲示する。</li> <li>・前時の感想を紹介する。</li> </ul>
	10	<p>○3番を鑑賞し、1番と比較をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽譜を見ながら鑑賞し、変化のあった部分を探し、教科書の楽譜上に印をつける。</li> <li>・印をつけた部分を意識しながら、上声部を歌ってみる。</li> <li>・黒板の拡大譜に自分で見つけられた変化の部分にシールを貼る。一人2カ所。</li> </ul> <p>予想されるシールの位置</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 「ながめを何にたとうべき」</li> <li>② 「げに一刻も」</li> </ol>	<p>音楽の変化を発見して分析し、情景にふさわしい歌い方を工夫しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1番と3番の拡大譜を貼る。</li> <li>・CDを流す</li> <li>・机間指導をしながら、変化に気づけない生徒には声をかける。</li> </ul>



	<p>③ 「おぼろ月」 〔旋律, 強弱〕</p> <p>7 ○シールが貼られた部分について1カ所選び, 分析して情景にふさわしい歌い方を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1番と比較して音楽がどのように変化しているか。</li> <li>・なぜ, そのように変化させたのか歌詞を手がかりに根拠を考える。</li> <li>・歌詞や音楽の特徴を生かすために, どのような歌い方の工夫ができるか考える。</li> </ul> <p>予想される生徒の反応 『「ながめを～」曲の終わりだから, 豪華に終わりたい。印象に残るように。』 『「げに一刻も」リズムがカチカチしている。リズムがきっちりしている。リズムが固い。言葉のリズムが固い。はっきりと歌う。』 『「おぼろ月」急にPになる。明るい月ではないから, そっと優しく歌う。』</p> <p>10 ○同じ部分を選んだ者同士で集まり, 考えや思いを伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お互いの考えや思いを聞き, 意見をまとめる。</li> </ul>  <p>8 ○グループで話し合った内容を代表者が全体に伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シールが貼られた部分の変化の根拠や工夫の仕方について理解する。</li> </ul>  <p>5 ○工夫点を意識しながら全体で合唱をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれのグループから出た意見を参考にしながら, 1番と3番を通して歌う。</li> </ul> <p>5 ○「花」の良さを紹介文にしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2時間の学習を通じて気づいた「花」のよさや美しさについて記入する。</li> </ul>	<p>◇関①【発言】</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホワイトボードやワークシートの紙に個人で記入する。</li> <li>・ホワイトボードの場合</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>選んだ部分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽がどのように変化していたか</li> <li>・なぜそのような変化が起きているのか</li> <li>・どのような表現の工夫をするのか</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「げに一刻も～」の部分は1番の「榴のしずくも～」の部分と比較するようヒントを提示する。</li> <li>・根拠が歌詞の情景と関連していることに気づかせたい。</li> <li>・人数が多い場合は, その場で2～3のグループに分け, 活動しやすいようにする。</li> </ul> <p>◇創①【発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者は再度全体から出た意見のポイントを繰り返し伝える。</li> <li>・指導者は最初に比べて声質や強弱に創意工夫があるか感じ取りながら聴き, 良かったところを伝える。</li> </ul> <p>◇技能①【表現】</p> <p>◇関②, 創①【ワークシート】</p>
--	---	--

6 板書計画

第1時

<p>1 番の楽譜</p> <div style="background-color: #cccccc; width: 100%; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="background-color: #808080; width: 100%; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="background-color: #404040; width: 100%; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="background-color: #202020; width: 100%; height: 20px;"></div>	写真	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <span style="font-size: 2em; font-weight: bold;">歌詞</span> </div>	写真
	写真		写真
			写真

第2時 (もう一つ黒板を用意し、前時の板書もそのまま使用する。)

<p>音楽の変化を発見して分析し、情景にふさわしい歌い方を工夫しよう。</p>		
<p>前回の感想から・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>	<p>1 番の拡大譜</p>	<p>3 番の拡大譜</p>

7. 評価と教師の働きかけ

<p>「十分満足できる」状況 (A) と判断される生徒の学習状況</p>
<p>歌詞の内容や曲想を感じ取り、曲にふさわしい表現について、自分のイメージや想いを もって歌っている。</p>
<p>「努力を要する」状況と思われる生徒への指導の手立てや働きかけ</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 具体例を示したり、友だちの意見を紹介したりして、音楽の特徴を捉え易くし、曲にふさわしい表現の方法を見いだしていけるようにする。</li> <li>・ 歌詞からのイメージと音楽からのイメージの双方を行ったり来たりしながら、どちらかに偏ることなく表現の方法を考えていけるようにする。</li> </ul>

## 「花」の授業実践からの考察

- ・始めに音楽は聴かせず、歌詞から入ることで「花」の世界観がじわじわと生徒の心に広がる様子があった。「歌詞だけ読むよりも春のイメージが浮かんだ。」という感想があった。
- ・楽曲の構成を色で区別した。1番の中が4つの大きな旋律に分かれていることを伝え、それぞれの部分についてどんな色が合うかを問いつつ、曲想の変化に興味を持たせるようにした。「何色がよいと思う？」と問うと、「舟で上り下りしているから、珊瑚色とか水色が良い。」「襦袢のしずくも花と散る」という言葉は水面を思い起こさせるから、空の色を反射したような水色とか白っぽい感じ」など意見が出た。最終的に、指導者が選んだ色画用紙で楽譜を色分けし、目で見ても曲想が変化することをわかりやすく提示した。色の話をしながら部分ごとに少しずつ変化があることに気づき始める様子があった。
- ・指揮をどう振るか考える活動では、4拍子で捉える生徒が圧倒的に多かった。しかし、中には2拍子で捉える生徒もおり、なぜそう振るのか聞くと「この方が穏やかだから」「なめらかな方が曲に合う」などの言葉が返ってきた。それを聞いた他の生徒たちも実際に振ってみて納得する様子があった。
- ・4クラスあるうち、最初の授業でおぼろづきの写真を提示しなかったところ、「おぼろ月」の強弱変化に気づく生徒が少なかった。試しにおぼろ月夜の写真を次のクラスから掲示してみたところ、強弱の変化に気づく生徒が増えた。
- ・拡大譜に全員でシールを貼る活動では、音楽的な見方・考え方を働かせることができた。また、黒板の前に集まってシールを貼りにくる時に「『げにいっさくも』のところってタンクローリーだったよね」などと音楽を口ずさみながら生徒同士が言語活動をしている様子が確認できた。シールを貼ることで変化の位置が一目瞭然となり、他の人が自分とは違う部分にシールを貼っていることに興味を寄せることができた。なぜシールが貼られているのか生徒が発表したり意見交換したりする場面では、下位層の生徒も楽譜のどこを見たら良いのか分かり、何についてみんなが話をしているのか理解することができた。
- ・授業の1時間目で、1番について深く知ったので、2時間目の授業が円滑に進んだ。1番をよく理解しているので3番とのちがいに気づきやすかった。特に、3番の終わり方についてはただ豪華絢爛なのではなく、散りゆく桜の切なさを表現したいなど、深く考えた意見が出された。
- ・1校はホワイトボード、2校はワークシートで授業を行った。ホワイトボードは意見発表の際、他の生徒に見せやすくグループ活動に適していた。ワークシートは、何について学習したのか、後で振り返りやすい。(どちらにも利点がある。)
- ・生徒のワークシートには次の授業につながるヒントがたくさん書かれているので、それを学級で共有することが、生徒の学びにつながると感じた。
- ・同じ部分について興味のある生徒同士でグループを組むことにより、話し合いが円滑に進んだ。話し合うことにより、他の人の意見の良さや自分にはない考え方に気づいて感心している様子があった。また、クラス全体でグループの考えを共有することで、曲全体の工夫のポイントを知ることができた。結果的に、歌う時間よりも思考する時間の方が長かったが、最初に歌った時よりもリズムや音程が明確になり、こちらから促さなくても強弱がついたり、心をこめた音色で歌ったりする様子が見られた。

研究～第三段階～

「花」の実践を生かし、3学年を対象に各校それぞれの授業に取り組んだ。各校とも10月の最初に合唱祭があるため、その課題曲や学年合唱曲について歌唱表現の授業を行った。【仮説1】の手立ても用いながら、【仮説2】についての検証ができるようにした。

【白井中の実践】

題材名 混声四部合唱の響きを味わおう

教材名 「すべての山に登れ」 ハマーstein 2世作詞/ロジャーズ作曲

指導計画 (学習内容と主な活動のみ抜粋)

時間	○学習内容 ・主な活動	○ねらい ・手立て
1	○曲全体の感じをつかむ。 ・曲を聴き、歌詞を読んで気づいたことや感想を記入し、発表する。 ・CD音源や友だちとの練習を通して、自分のパートの音を覚える。	○曲全体の感じをつかむ ・CDを聴き歌詞を音読する ・自分たちのパートにマーカーでラインを引く。 ・ラララ・・・で音程をとる
2	○パートの役割を考えて歌う。 ・曲の構成について確認する。	○曲の構成とパートの役割を考えて歌う。
3	・自分たちのパートの役割について、パート内で話し合う。 ・2つのパートで合わせることで、更に自分たちのパートの役割や良さを確認する。 ・他のパートと合わせてみて、気づいたことや反省点を大きな紙にまとめておく。	・構成を色分けして、視覚的に捕らえさせる。 ・自分たちのパートの役割を話し合う。 ・2つのパートと合わせることで、自分たちのパートの役割を明確にする。
4	○構成や曲想を生かした表現をグループで考え、学級で共有する。 ・楽曲を構成に従い4つの部分に分け、全体との関わりを知る。 ・各部分に相応しい表現や声の響きをグループで話し合い、具体的に歌って試す。 ・グループごとに発表して、表現についての理解を深める。	○曲に相応しい表現をグループで考え、言葉と音で伝え合う。 ・強弱記号を消した楽譜を用意して、構成やテクスチュアから表現の工夫を考える。 ・グループごとに発表し、それに対して感想を言う。
5	○前時の授業で理解を深めた表現について、学級全体で共有し合唱する。 ・BとCの部分についてパートの役割を確認する。 ・BとCの表現について、いくつかの方法を試し、曲に相応しい表現を模索する。 ・合唱を録音し、パートの音色や歌い始めのタイミングなどを確認し、全体を整える。	○グループで考えた表現について学級全体で歌って試す。 ・いくつかの表現を試し、録音・聴くを繰り返して共有する。その良さを話し合う。 ・自分たちらしい表現をまとめ合唱する。

[白井西中の実践]

題材名 歌詞の内容と旋律の関わりを意識し、曲の変化を感じ取りながら合唱しよう。

教材名 「ふるさと」 高野辰之 作詞/岡野貞一 作曲/平吉毅州 編曲

指導計画 (学習内容と主な活動のみ抜粋)

時間	○学習内容 ・主な活動	○ねらい ・手立て
1	<p>○歌詞の内容をつかみ旋律との関わりを感じ取り、歌い方の創意工夫を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞を読んで理解する。</li> <li>・作詞者作曲者について知る。</li> <li>・歌いながら曲の構成や旋律の流れを感じ取る。</li> <li>・一番について歌詞の内容や旋律の動きを根拠に歌い方の創意工夫を考え、ワークシートに記入する。</li> <li>・考えた創意工夫について発表する。</li> </ul>	<p>○歌詞の内容をつかみ、主旋律の動きを感じ取って、一番の歌い方について創意工夫を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長野の風景を教科書や写真で確認する。</li> <li>・イメージ画をワークシートに描く。</li> <li>・旋律の高さやリズムに合わせて手を動かし、旋律線をワークシートに記入する。</li> <li>・他の人の意見を聞き、歌い方の工夫について考えを広げる。</li> </ul>
2	<p>○主旋律の動きや歌詞の意味を意識して、パート練習をし、自分のパートの音程を覚え、全体で合唱する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4つのパートに分かれて練習する。</li> <li>・1番の創意工夫を意識してパートの音程やリズムを練習する。</li> <li>・2つのパートで合わせてハーモニーを確認する。</li> <li>・混声四部合唱に挑戦する。</li> </ul>	<p>○主旋律の動きや歌詞の意味を意識しながら、自分のパートの音程やリズムを覚える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・黒板に写真や前時の内容を貼っておく。</li> <li>・前時に皆が考えた工夫を確認する。</li> <li>・創意工夫を意識してパート練習をする。</li> </ul>
3	<p>○2番と3番の歌詞についてイメージを膨らませ、歌詞を生かした創意工夫を考え、グループに分かれて話し合い、歌って試してみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パート練習をし、合唱をする。</li> <li>・2番、3番のどちらかについて創意工夫を個人で考える。</li> <li>・グループごとに集まってお互いの意見を共有し、実際に歌って試しながら、考えを一つにまとめ、拡大譜に書き込んでいく。</li> </ul>	<p>○歌詞を根拠にして曲の創意工夫を考え、他者の意見を聞いて効果的な工夫を追求する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までの板書を貼っておく。</li> <li>・ホワイトボードに歌詞の意味と旋律の関わりから考えた創意工夫を記入する。</li> <li>・楽譜の強弱は消しておく。</li> <li>・大きめの丸いシールを用意し、発音の強調等に使えるようにする。</li> </ul>
4	<p>○自分たちで考えた創意工夫を発表し、他のグループと意見を共有し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ練習をし、創意工夫を深める。</li> <li>・拡大譜を使って他のグループに自分たちのグループの意見とアンサンブルを発表する。</li> <li>・他のグループの意見や発表について感想をワークシートに記入する。</li> </ul>	<p>○人によって表現の工夫が少しずつ違うことに気づき、考えを深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ歌詞についての工夫でもグループによって違いがあった部分は指導者が確認し全体に伝える。</li> <li>・他のグループ発表について、聴いていた生徒から意見や考えを伝える。</li> </ul>
5	<p>○前回の各グループの意見をもとに全員で表現について試行錯誤しながら合唱する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いくつかの表現を試し、録音、鑑賞、評価する。</li> <li>・効果的な歌い方を追求する。</li> </ul>	<p>○歌詞や音楽のよさや美しさを効果的に表現するために、繰り返し試行錯誤して表現を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの表現を録音して鑑賞し、効果的に歌えていたか評価する。</li> <li>・同じ部分について違う工夫をして表現の効果を比較する。</li> </ul>

[白井南中の実践]

題材名 声部の役割と全体の響きとの関わりを理解して、曲想にあった表現を工夫して歌おう。

教材名 「あなたへ～旅立ちに寄せるメッセージ」

筒井雅子 作詞作曲

指導計画 (学習内容と主な活動のみ抜粋)

時間	○学習内容 ・主な活動	○ねらい ・手立て
1	○曲全体の雰囲気をつかむ。 ・歌詞を読んで、曲のイメージをもつ。 ・曲を聴いてどんな雰囲気のか、感想を書いて、発表をする。 ・自分のパートにラインを引いて、自分のパートの旋律を確認する。	○曲の雰囲気を感じ取る。 ・声に出して歌詞を読むことで、イメージをしやすいとする。 ・ラインを引くことで、旋律の動きを理解しやすいとする。
2	○自分のパートの音程やリズムを理解して歌う。 ・パートリーダーを中心にパート練習を進めて、音程やリズムを覚える。	○パートの音程やリズムを正確に歌えるようにする。 ・曲の構成を説明し、曲を区切って練習をするように促す。
3	○自分の声部の役割を理解して歌う ・ユニゾン、ハーモニーなどの響きを確認し、曲の構成を共通理解する。 ・他のパートと合わせて、自分のパートの旋律の役割を理解しながら練習する。	○パートの役割を理解して歌う。 ・拡大楽譜を用意し、主旋律の流れを確認しながら、曲の構成をわかりやすいとする。
4	○歌詞の内容と曲想との関わりを生かして、表現の仕方を工夫する ・曲の後半部分を小グループに分かれて、ふさわしい表現を話し合っ工夫する点を確認する。 ・小グループで練習をして発表をし、お互いに意見交換をする。	○グループに分かれて表現の工夫を話し合い、より深める。 ・ワークシートを使って、どんな点に留意して話し合えばよいかを示し、スムーズに進むよう促す。
5	○表現の工夫を学級全体で共有し、さらに深める。 ・各グループで出し合ったことをもとに、クラス全体で歌い、表現を深める ・パートリーダーに意見を求めながら試して歌う。	○グループで話し合ったことを、学級共有することで、表現の幅を広げる。 ・グループで良かった意見を拾いどうだったか、意見を共有する。

## 各校の実践からの考察

各校の授業を振り返り検証してみると、下記のようにグループ活動→発表・意見交換→全体合唱という授業の流れで生徒の思考力・判断力が深まる様子が見られた。

グループ活動では自分たちで考えた表現がふさわしいかどうかを試行錯誤する活動が難しい様子だった。歌ってみたあと、曲想にふさわしいか判断できないグループも多かった。技能面での困難さからうまく表現できなかつたり、全体の響きや表現を聴き取りながら歌うことができなかつたりする。



他のグループの意見や発表を聴く場面で、自分たちのグループとは違う表現の工夫をしていることに気づき、「もっと～した方が良い」と伝えられる生徒がいた。それをきっかけに学級全体で合唱して試してみる活動につなげることができた。



グループで話し合った表現の工夫をクラス全体で試したり、録音したりしてみると、グループで歌うよりも強弱や言葉の強調が耳で確認しやすいことがわかった。またグループより学級での合唱の方が、試した表現が曲想にふさわしいかどうか判断できる生徒が増えた。

—その他—

- ・ 4～8小節程度の短い部分について限定して創意工夫を話し合う方が、表現の工夫を追求しやすい。
- ・ 楽譜の強弱を予め消しておく、旋律やテクスチャ、歌詞などを根拠に曲想を工夫しやすい。
- ・ 2つのパートで合わせる練習から、全体のテクスチャやハーモニーの役割に気づくことができ、歌い方の工夫につながった。教え込むことで理解させるのではなく、自分の耳で気づいたことから、主体的に改善しようとする意欲が生まれた。

## 7. 成果と課題

—仮説1の成果と課題—

- 生徒と歌詞の内容について言葉を交わしながら、絵や写真を提示していくことで、情景や作り手の思いを想像することができ、曲のイメージについて自分の言葉で表現するきっかけとなった。
- 楽曲の構成を色分けして示したり、指揮や身体表現をしたりすることで、音楽を形づくっている様々な要素が感じ取りやすくなった。
- 拡大譜にシールを使用する活動は、表現の変化を捉えたり、創意工夫を強調したりするのに適していた。視覚的に捉えやすく、多くの生徒の目をひきつけやすい。
- 板書を工夫すると、音楽的な見方・考え方が深めやすいことがわかった。前時の活動を振り返り、学習してきた流れを視覚的に確認することで、本時の活動も円滑に進んだ。
- 教師と生徒の言語活動を多く取り入れ、できるだけ多くの生徒の意見を学級全体で共有す

ることで、音楽的な見方・考え方の視点が幅広くなった。その結果、去年は一言も書けなかったり、しゃべれなかったりした生徒が、一年を過ぎて自分の意見を言えるようになった。

△ワークシートとホワイトボードの二種類を使って仮説を検証してきた。

〈ワークシート〉

課題や説明が明確に記入されているので活動が円滑に進んだ。授業後に指導者が評価しやすいことや生徒が前時の活動を振り返りやすいという利点もあった。しかし、グループ活動では、お互いの意見を確認しづらいという欠点も見えた。

〈ホワイトボード〉

グループ活動で意見を共有するのに有効であった。しゃべると小さい声になってしまう生徒にとっては使いやすかった。しかし、授業後に写真をとって記録を残したり、印刷して生徒に返したりするのは大きな手間であった。

### —仮説2の成果と課題—

○グループで話し合った内容や発表を他のグループに披露することをきっかけにしながら、学級全体で歌って試してみる活動は有意義であった。学級での合唱は声量も上がり、表現の工夫を感じ取りやすかった。

△グループ活動で、曲にふさわしい歌唱表現について創意工夫を深めることは難しいことが多かった。誰か一人は歌わずに聴いたり、順番に聴き合ったりするなどの具体的な手立てを示すことが必要であった。また、指導者が介入して進める必要もあった。

△自分たちで工夫した歌唱表現を録音して聴いてみる活動は、生徒が積極的に表現をしようとするきっかけとして有意義であった。しかし、録音と鑑賞を繰り返しながら学級で表現を追求する方法には、時間的な制約や生徒の集中力を考えても限界があった。指導者の音楽的な専門性の下、生徒の発想力をうまく引き出しながら、表現を深め、それを定着させることも必要だと感じた。

### —まとめ—

【仮説1】の考察から、音の情報を可視化することは、一人一人の生徒が音楽的な見方・考え方を働かせるきっかけとして有効だと感じた。また、計画的に手立てを踏み、どの生徒にも取り組めるような課題を設定すれば、生徒は曲にふさわしい歌唱表現を主体的に捉え、その思いを言語化することができると思った。

【仮説2】の考察から、グループ活動では曲のどの部分を工夫するのか、指導者が十分に絞り込んだ上で課題を示すと活動に取り組みやすくなり、創意工夫を生かした音楽表現を追求する活動につながると感じた。また、①グループで試行錯誤する、②お互いのグループの表現を聴き合う、③学級でグループの考えを共有し試してみる、という3つの活動を指導者が授業内で臨機応変に行ったり来たりさせる対応力があれば、曲にふさわしい音楽表現を生徒は主体的に追求できるのではないかと考えた。

最後に、今回の研究では、言語活動に偏り、鑑賞の活動がおろそかになりがちであったことを反省している。様々な音楽表現を聴いて知り、味わう体験があってこそ、表現することに興味を持ち、創意工夫をしてみたいという思いにつながるのだということ忘れられないようにしたい。今後も更に研究を続け、創意工夫を生かした歌唱表現を追求する生徒の育成を目指したい。



# 資料編

「花」第1時の授業を終えて 生徒の感想

「花」の歌詞や音楽から感じ取ったことを記入しよう。  
同じようなせんりつが3回出てきたけど、どれも少しずらちがわりリズムになっているので、歌い分けることを意識してちがいを出して歌うことが大事だと思ったのと、作曲者のねらいなのかと思いました。  
それがい

「花」の歌詞や音楽から感じ取ったことを記入しよう。  
はるのうらさの うらさで下がっていくのが春のゆたたりしている感じを感じました。のほりくだりのところでは 上からたり下からたりして、のほりくだりを表現していることがわかり、最後の たとうべの うを おに 変えて歌うと、花の美しさをたえられないという情景が感じ取れました。

「花」の歌詞や音楽から感じ取ったことを記入しよう。  
稲や川の流る、春の豊かさや、心地良さを感ずることができました。音符の配置にも工夫が感じられました。たえられないほど美しい風景が想像でき、もと歌詞の情景を絵で取りたいと思いました。  
曲のテンポが良く、楽しくもなりました。

「花」の歌詞や音楽から感じ取ったことを記入しよう。  
このせいのびのびとした音と歌詞がうなづかれています。下のパートの花とちるのところが「井」になっていて、不思議な空気になると感じました。

「花」の歌詞や音楽から感じ取ったことを記入しよう。  
情景をきれいに切り取っている歌詞に、なめらかなりと希望や明るさが表れているせんりつで、「日本の春」らしいなと思った。とろとろと伸びるこぼれやばんをうらなスタートなどが、鳥さえずり(春の)がたいに感じた。(歌詞には入っていないけど)なごめを何にたはうべが2回入っていておど感を感じて歌詞を書いたのかもしれない。

「花」の歌詞や音楽から感じ取ったことを記入しよう。

一番と二番と三番の始まる直前のC7の音がだんだん低くなって、いる感じがした。それが二番との違いも表現しているのかなと思ってる。今日の授業でやった①の部分だけ違う種類の音なので特殊な意味があるのかなと思った。

「花」の歌詞や音楽から感じ取ったことを記入しよう。

ゆったりとしている。やさしさがある。  
川の流れる音をききながら、満開の桜を。ふんわりと。  
こころも、一人で楽しんでいる。ふんわりと。  
おどやかな風がふいている上での感じ。

「花」の歌詞や音楽から感じ取ったことを記入しよう。

とてもこの曲は知っている。しかし見ると、川田川と不器か  
一緒にいる感じが、かたじけなく感じました。また、一番しか  
いなければ二番になってから、1番がなくなった。たぶん、おどやかな  
一スターとかが、3分音で、とても楽しめた。2分音  
併せて、より楽しめた。

「花」の歌詞や音楽から感じ取ったことを記入しよう。

なめらかな川の流木や、花が風にながっている風景や  
イメージをなめらかな曲調やテンポにのせて表現している  
のだろうと考えた。  
ゆるやかな  
ゆったりとした風景をなめらかなリズムにのせている。

「花」の歌詞や音楽から感じ取ったことを記入しよう。

歌詞の音とリズムが、どこどこで、寂れて、いる部分がある。この歌  
の魅力だ。と思いました。主旋律と下の声楽のパートがきれいに  
合ると、すごくいいハーモニーになっていました。強弱も  
はきりして、いてなめらかな感じが、よかったです。

Bについて

1. Pは上へ弱く発音した後に変化して来る。
2. 作者は、「おぼろ月」という歌詞をゆえに、他の歌詞よりも、このおぼろ月を強く意識して、夜の空の中、おぼろ月を休むように思っているから、強く歌っている人、心がゆたかに歌っている。

<Bについて>

・このようにだけ急にPになっている。  
「おぼろ月」の感じがでている気がする。それと、このPにさる=とど。その後の「げに、に、に」のPが、おぼろ月が盛り上がり、歌っているPに聴こえ、それがPに落ちるとか大切だと思える。

(B)の部分

- ① 1番よりもリズムがリズムになっている。  
♪ → ♪ (Pの所)
- ② 最後の盛り上げをきかせるため、おぼろ月。
- ③ 1番との違いを意識しながら、音を大切に歌う。  
力強く歌う。

1. Bの部分の音量が小さく、静かだった。Pがついて、音量が上がる。
2. 霧ががが、おぼろ月を連想させる。静かを感じ。
3. 音量をおさえておぼろ月が歌う。歌うたびに力強く。

Cの部分について

リズムが変わっている(♪ → ♪)  
Cの歌詞が「げに、に、に」という意味なので、本当に桜がきれいだよ、ということを強調したかったと思う。リズムのちがいをよく分かるように歌う。

1. 1、2番にはない(おぼろ月)をつけ、音のまとまりを作っている。
2. 音のまとまりをつけ、その部分を自主的にすることによって、音のまとまりを強調している。一番目には、おぼろ月がきれいだよ、ということを感じさせる。
3. 3番を歌うときには、Cの部分も、ただ音のまとまりをつけただけでなく、おぼろ月がきれいだよ、ということを感じさせる。

D

- ① 音程が低くなっている(1番)から、2番、3番と高くなっている。
- ② 作者が強く伝えたい(おぼろ月を大切に)気持ちを強調するために、低いと高いの対比を強めて、高くなるように歌う。

Dの部分

- ① 最後が高くなっている
- ② 風が吹いて、おぼろ月を大切に歌うことができない、おぼろ月を大切に歌うことができない、おぼろ月を大切に歌うことができない。
- ③ 力強く、おぼろ月を大切に歌う。

「D」について。1番ではDの部分から、段々と下がって、おぼろ月がきれいだよ、ということを感じさせる。2番では、おぼろ月がきれいだよ、ということを感じさせる。3番では、おぼろ月がきれいだよ、ということを感じさせる。おぼろ月がきれいだよ、ということを感じさせる。おぼろ月がきれいだよ、ということを感じさせる。

「D」について。1番では「おぼろ月」というとき、下がっていく感じなの。2番になると、上がっていく感じになる。理由は、おぼろ月がきれいだよ、ということを感じさせる。おぼろ月がきれいだよ、ということを感じさせる。おぼろ月がきれいだよ、ということを感じさせる。おぼろ月がきれいだよ、ということを感じさせる。

# 花

めあて

音楽の変化を発見して分析し、情景に相応しい歌い方を工夫しよう

**活動1 1番を斉唱する(メロディラインの確認)**

**活動2 音楽の変化を発見する**

- ① 3番を鑑賞し、音楽の変化を見つける (2カ所)
- ② 変化のあった部分に印を付け、その部分を意識して歌う
- ③ 拡大譜に自分が見つけた変化部分を示す (シールを貼る) → 1人2カ所

**活動3 音楽の変化を分析する**

A 選んだ部分の歌詞を書き出そう

---

B 1番と比較して変化したこと (〇〇が〇〇に変わった)  
 1番と比べて  
 リズム・音の高さ・強弱・音の長さ・フレーズの速さ・その他 ( ) が  
 ( )  
 に変わった。

C なぜ、そのように変化をさせたのか、歌詞を手がかりに根拠を考えよう

**活動4 歌詞や音楽の特徴を生かした歌い方の工夫を考える**

自分の 考え	
友だちの 考え	



「花」第2時 生徒のプリント

活動3 音楽の変化を分析する

A 選んだ部分の歌詞を書き出そう

生徒 A

おぼろづき

B 1番と比較して変化したこと (〇〇が〇〇に変わった)

1番と比べて

リズム・音の高さ・強弱・音の長さ・フレーズの速さ・その他 (大きさが) が  
 (おぼろづきは、P (セツ / ヒロフ) 格調が弱く、音が  
 同じ曲調の1番のより、MとGは、Pではたか、mfに下、て、て、  
 音の下さ、こ、  
 (17/11/17) )  
 に変わった。

C なぜ、そのように変化をさせたのか、歌詞を手がかりに根拠を考えよう  
 おぼろづきは、音の弱かったぶんが、て、て、て、他の歌詞の音階と変化をつつ  
 ぼんやりとした美しい月らしく、ぼんやり、物表現したかったのだと  
 思う。

活動3 音楽の変化を分析する

A 選んだ部分の歌詞を書き出そう

生徒 B

おぼろづき

B 1番と比較して変化したこと (〇〇が〇〇に変わった)

1番と比べて

リズム・音の高さ・強弱・音の長さ・フレーズの速さ・その他 ( ) が

( mf から P )

に変わった。

C なぜ、そのように変化をさせたのか、歌詞を手がかりに根拠を考えよう  
 次の「げにいっくもせんまんの」を強調するために、1番のmf  
 では、Pにして、7/11/17/17の強化を大きくしたと思う。  
 ぼんやりとしたおぼろづきを表現するためにPにしたと思う。

活動3 音楽の変化を分析する

A 選んだ部分の歌詞を書き出そう

生徒 C

おぼろ月

B 1番と比較して変化したこと (〇〇が〇〇に変わった)

1番と比べて

リズム・音の高さ・強弱・音の長さ・フレーズの速さ・その他 ( ) が

( 強く、大きい音から、小さく、弱い音に )

に変わった。

C なぜ、そのように変化をさせたのか、歌詞を手がかりに根拠を考えよう  
 裏の中、下た、おぼろ月と、あつりの静けさ、を、したから、下、下、  
 1番では、花いすくの舞、散る様子、を、表したかったから、水も、目立たせたい。

活動4 歌詞や音楽の特徴を生かした歌い方の工夫を考える

自分の  
 考え

優しく、静かで、落ちついて、いるので、声は、少しおさえて、  
 優しく、歌う

活動3 音楽の変化を分析する

生徒D

A 選んだ部分の歌詞を書き出そう

「おぼろ月」

B 1番と比較して変化したこと (〇〇が〇〇に変わった)

1番と比べて

リズム・音の高さ (強弱) 音の長さ・フレーズの速さ・その他 ( ) が  
 ( 落ち着いた感じで少し静かに、弱く歌っていた。 )

ほんやりと  
かすんだ

に変わった。

C なぜ、そのように変化をさせたのか、歌詞を手がかりに根拠を考えよう

「おぼろ月」は、夜に見える月なので、あまり賑やかな感じで大きく  
 強く歌うよりも、落ち着いた感じで静かに、弱く歌った方が、

おぼろ月が見えている時の夜の静けさも表現できるから、だと考えた。

活動3 音楽の変化を分析する

生徒E

A 選んだ部分の歌詞を書き出そう

「げに一刻も」

B 1番と比較して変化したこと (〇〇が〇〇に変わった)

1番と比べて

リズム、音の高さ・強弱・音の長さ・フレーズの速さ・その他 ( ~~テンポ~~ ) が  
 ( のびのびとした感じが、きちんとした感じ )  
 たーたーたーたー ⇨ たーたーたーたー

に変わった。

C なぜ、そのように変化をさせたのか、歌詞を手がかりに根拠を考えよう

印象づけるため、強調、雰囲気を変えるため  
 げに一刻も = 本当に だから

活動4 歌詞や音楽の特徴を生かした歌い方の工夫を考える

自分の 考え	感情を込めて歌詞の表情を読みとる
友だちの 考え	音をひびかせる ことばの意味 ラストに向けてうたう (テンポを速く) さびを印象づける (テンポを大切に)



活動3 音楽の変化を分析する (友だち) 「17」に一刻も リズムが変わる。 曲の雰囲気 前と後でかんじ 美しくて表現

A	選んだ部分の歌詞を書き出そう	<b>生徒 F</b>
	「ながめを何にたとうべき」	
B	1番と比較して変化したこと (〇〇が〇〇に変わった) 1番と比べて リズム・音の高さ・強弱・音の長さ・フレーズの速さ・その他( )が (リズム...最初は同じ、だんだんゆくり、「なにに〜」のころから、) 音の高さ・強弱、音の長さ...じりじり高く、強く、長くなって、 最後はもっともど、た、山をつくらせているかんじ。 に変わった。	
C	なぜ、そのように変化をさせたのか、歌詞を手がかりに根拠を考えよう。 この曲を作った人が、「ながめを何にたとうべき」のフレーズを 1番強調したい、伝えたいと思ったから。(3番の桜(夜の桜)が1番美しいと伝えたい!) 作者	

活動4 歌詞や音楽の特徴を生かした歌い方の工夫を考える

自分の 考え	美しい曲の料りを思い浮かべながら、リズムや音の高さなどの かきかたやうらやまの部分を利用して意識して歌う。「ながめを何に〜」
友だちの 考え	「17」に一刻も リズムを変えて(文字(文字を強調)) 「17」に一刻も リズムを崩らして大きいところを思い浮かべる 音がかたい。 「ながめを〜」 - うらやまの部分がたがはたが、 強→弱

ながめを何に > たとうべき  
めどなく

「おほろづさ」 | 静かに 儚いかんじ。  
(くさりさす、ほんたいにしは月を表現)

活動3 音楽の変化を分析する

A	選んだ部分の歌詞を書き出そう	<b>生徒 G</b>
	「ながめを何にたとうべき」	
B	1番と比較して変化したこと (〇〇が〇〇に変わった) 1番と比べて リズム・音の高さ・強弱・音の長さ・フレーズの速さ・その他( )が (ゆくりとんどん下まじりながめを何に〜) で最後は山を のぼり「たとうべき」でおどろくマカリ落ちついた感じ に変わった。	
C	なぜ、そのように変化をさせたのか、歌詞を手がかりに根拠を考えよう 最後の山をのぼり、おちついた感じ、結びつけたから。 (盛り上げ)。印象うけ。	

活動4 歌詞や音楽の特徴を生かした歌い方の工夫を考える

自分の 考え	「ながめを何にたとうべき」山にのぼるのでまろやかにしてどんどんおち いと感じた。それを、静かに、儚い感じに伝える。
友だちの 考え	2.1が1つだけ 1.2が4つ強弱!!



活動3 音楽の変化を分析する

生徒H

A 選んだ部分の歌詞を書き出そう

ながめをなにとしようべき

B 1番と比較して変化したこと(〇〇が〇〇に変わった)

1番と比べて

リズム・音の高さ・強弱・音の長さ・フレーズの速さ・その他( )が  
 (リズムがゆっくりになった。音の高さが1番より高くなった。  
 強弱が大きく強くなった。)

に変わった。

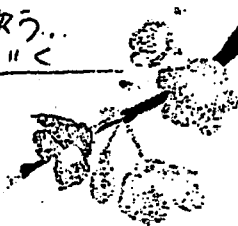
C なぜ、そのように変化をさせたのか、歌詞を手がかりに根拠を考えよう

美しい景色がとてつもない価値のある、というのを少しゆっくり  
 強弱をつけたことで何にも言い表せない価値があるというのを  
 表しているのだと思った。

活動4 歌詞や音楽の特徴を生かした歌い方の工夫を考える

自分の 考え	最後の盛り上がりを意識して強弱を強めにして、 音の高さを高く歌えたらいいと思う。
友だちの 考え	「おぼろげ」のところが2番より優しく弱めに歌う。 その後から大きくして強弱をつけていく リズムを速く、大きく聞かせるように歌う。 「1」は「1」で「せんせいの」リズムをなめらかに ながめをなにと(強)「たとうべき」(弱)兼やがを表現。 1番2番より、強弱を想像して歌う。

山の部分の盛り上がりを意識して歌う。  
1番2番より、強調して歌う。



活動3 音楽の変化を分析する

生徒I

A 選んだ部分の歌詞を書き出そう

ながめをなにと

B 1番と比較して変化したこと(〇〇が〇〇に変わった)

1番と比べて

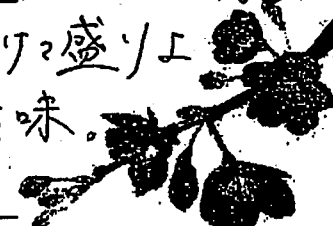
リズム・音の高さ・強弱・音の長さ・フレーズの速さ・その他( )が  
 (1番よりリズムが速く、音の高さが低く、強弱が弱くなった。)  
 1番はリズムが速く、音の高さが低く、強弱が弱く、印象が弱かった。  
 2番はリズムが遅く、音の高さが高く、強弱が強くなり、印象が強くなった。

C なぜ、そのように変化をさせたのか、歌詞を手がかりに根拠を考えよう

「ながめをなにと」という中で「な」と「と」の間には2回入った  
 21番より3番より強弱をつけて印象強く「な」と「と」の間に感じを出した  
 ため、なにと。

活動4 歌詞や音楽の特徴を生かした歌い方の工夫を考える


自分の 考え	最後盛り上げるぞ、と感じ、歌のつな山場だ、と思うから 聞きたまは最後印象付けできるように歌ったほうがいいと思う。
友だちの 考え	響かせる。サビから最後に向ける盛り上げ ける。優しく歌う。歌詩の意味。 強弱。スタイルの入った。



「花」第2時の授業を終えて 生徒の感想


氏名  
花 の興を紹介文にしよう

「花」は、滝廉太郎の代表作となり、  
いる曲です。歌詞から春の穏やかな  
情景が、と頭の中に自然と浮かびます。  
3番になるとリズムの変  
化や歌詞に合った強  
弱と音回りの変化により、滝廉太郎の感じ  
が非常に奥行きのある歌だと




氏名  
花 の興を紹介文にしよう

言葉の音回りによって音や強弱  
リズムが変化する。その音も歌い  
分けながら歌うと1, 2, 3番まで  
水少しすつちがた男  
音もまたのしむこと  
ができる。



氏名  
花 の興を紹介文にしよう

「花」を歌い、聴くと100年前の花のうか  
舞い様子を思い浮かべることが出来る。  
3番では、1日の中で最も美しい夜の情景を  
作っている。幻想的な  
月夜に映える様子を  
味わってほしい。



花

Allegro moderato (♩=60c♯) 伴奏に

作詞 尾形十三郎  
作曲 徳田信太郎

First system of musical notation for 'Hana', featuring a vocal line and piano accompaniment. The lyrics are: な がめを なにに たどくべき

Second system of musical notation for 'Hana', featuring a vocal line and piano accompaniment. The lyrics are: な らの うらら-の すみ-だまを  
あ すや るけ-の つ-う-あひて  
おんけ もの-い-う- さくらを

→ p.84

花

Third system of musical notation for 'Hana', featuring a vocal line and piano accompaniment. The lyrics are: あ すや うち-て の-く-て  
おんれし ま-ぬ-く あ-や-ぎを  
にしき り-や-す ち-う-てい-に

Fourth system of musical notation for 'Hana', featuring a vocal line and piano accompaniment. The lyrics are: く らげ の-げ-る おんげ-つ-き げにい-う  
こくらせん さんの さがめを なにに  
たどくべき



# 混声四部合唱の響きを味わおう

## すべての山に登れ

強弱表現を消した楽譜

Moderato

ハマースタインII世 作詞 ロジャーズ 作曲 川崎絵都夫 編曲

**A** C D G Gm7 C7 Fm7 Fm

Climb ev - 'ry moun-tain, search high and low, Fol - low ev - 'ry

C Dm7 G7 C **B** D G

by - way, ev - 'ry path you know. Climb ev - 'ry moun-tain,

Gm7 C7 Fm7 Fm C Dm7 G7 C C7 **C**

ford ev - 'ry stream, Fol - low ev - 'ry rain-bow, till you find your dream!

**C** F G7 C Am7 D7

A dream that will need all the love you can give, Ev - 'ry  
dream that will need all the love you can give,

歌詞の大意...すべての山に登りなさい。高い山も低い山もすべてをさがし。すべてのわき道、小道をたどって。すべての山に登りなさい。すべての小川を渡りなさい。すべてのにじをたどりなさい。あなたが自分の夢を見つけるまで! 夢はあなたの愛をすべてさげたととき、かなうもの。命あるかぎり。

A D D7 G Em

for as long as you live.  
day of your life for as long as you live. for as long as you live.  
Ev'ry day of your life for as long as you live.

**D** G A7 D Dm G7 Cma7

Climb ev - 'ry moun-tain, ford ev - 'ry stream,

Am Am7/G Dm C Cmaj F# G7

till you find your  
Fol - low ev - 'ry rain - bow till you find your  
till you find your

C Dm7 C 2. F# G7 C

dream! find your dream!  
dream! Hum find your dream!  
dream!  
dream! Hum A find your dream!

**あなたへ -旅立ちに寄せるメッセージ-**  
 (通声のための合唱組曲「時の女神」から)

作曲者のメッセージ  
 原曲は「通声のための合唱組曲「時の女神」(全7曲)の最終曲。通声四部のダブル・コール(二重合唱)で八重調だが、クラス合唱でも楽しめるよう音域等を考慮し、通声三部、又は異調に編曲した。原曲の規模はもとより、演奏会やコンクール、卒業式等で歌う白のレポートリーには入っていたらいいと思う。

岡井啓子 作詞・作曲

♩=84 5/4 語りかけるように

1はく  
1はく

♪84 5/4  
静かに聞いてほしい

もくねんにも こゑ そろし いつばさ でつばさで まだ  
 もくねんにも こゑ そろし いつばさ で

9 *mf* *rit.*

あゆ せかい いろいろという はてしな いー そら へそらへ  
 Ha... せかい はてしな いー そら へたび

© 2007 by ONGAKU NO TOMO SHU CORP., Tokyo, Japan.

原曲作曲者 中島 287

♪84 5/4

すべての音が響きわたることも不思議な場合は、( ) 内の小音符でもよい。

あな しあわせさん やさしくなることを  
 Ah... かなしあしあわせさん しくなることを  
 じあそふ ことのようにかなしあしあわせさん しくなることを

♪84 5/4

んなことが あつて じぶんを さらけだした さらけださず  
 んなことが あつて じぶんを さらけだした

♪84 5/4

よくだが こんなぬめりとひとを さらけださず  
 Ha... よくだが ひとを さらけださず

♪84 5/4

たびたてゆくので すね... さらけださず  
 たびたてゆくので すね... さらけださず  
 たびたてゆくので すね... さらけださず

♪84 5/4

たびたてゆくので すね... さらけださず  
 たびたてゆくので すね... さらけださず

♪84 5/4

とみだせしめてしまふ じんせい... のはてし  
 とみだせしめてしまふ じんせい... のはてし

♪84 5/4

んだころに さあ... 一つは...  
 んだころに さあ... 一つは...  
 んだころに さあ... 一つは...

♪84 5/4

らひ さらけださず... とべるから...  
 らひ さらけださず... とべるから...  
 らひ さらけださず... とべるから...

♪84 5/4

さ 175... さらけださず...  
 さ 175... さらけださず...  
 さ 175... さらけださず...

ここから、最後まで話し合いました。

23 **mf** (アツカト)

57 **mf**

70

73 **f**

75

60 **f**

63 **f**

65 **f**

